

LAC → B ←
supports your business

*We provide IT total solutions
based on advanced security technologies.*



2021年3月期 第3四半期決算説明資料

2021年2月9日

株式会社ラック

1. 2021年3月期 第3四半期決算概要

2. 補足資料（各種推移、事業トピックス）

※通期業績予想は2020年11月10日の公表値から変更ありません。

新型コロナウイルスの影響を受けつつも増収

セキュリティ事業の体制強化や社内IT投資、社員向け特別支援一時金の支給等があるものの増益に転換
子会社等の拠点集約のための特別損失の計上により四半期純利益は減益

（百万円）

科目	'20年3月期 3Q累計実績	'21年3月期 3Q累計実績	前年同期比増減	
			増減額	増減率(%)
売上高	28,810	30,280	+1,469	+5.1
営業利益	370	420	+50	+13.6
営業利益率%	1.3	1.4	+0.1p	-
経常利益	441	458	+16	+3.8
経常利益率%	1.5	1.5	△0.0p	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	278	237	△41	△14.9

（注）在宅勤務等の負担に対する全社員への特別支援一時金の支給として約70百万円を計上しています。

セグメント別業績（前年同期比）

両事業ともに増収、セグメント利益はSI事業の利益拡大により増益
 全社共通費用は社内IT投資等により増加

（百万円）

売上高	'20年3月期 3Q累計実績	'21年3月期 3Q累計実績	前年同期比増減	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	11,464	12,392	+927	+8.1
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	17,346	17,887	+541	+3.1
合計	28,810	30,280	+1,469	+5.1

セグメント利益	'20年3月期 3Q累計実績	'21年3月期 3Q累計実績	前年同期比増減	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	1,078	1,003	△75	△7.0
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	1,986	2,132	+145	+7.3
合計	3,065	3,135	+70	+2.3

全社共通費用	△2,695	△2,715	△20	-
--------	--------	--------	-----	---

（注）セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の、事業にかかる販売費および管理費を含めた利益です。

製品販売の拡大やサービス売上の伸長により増収、人員増など体制強化の投資等により減益

●コンサルティングサービス

セキュリティ対策チーム（CSIRT）の運用支援や緊急対応サービスの案件が拡大

●診断サービス

第2四半期以降、プラットフォーム診断やWebアプリケーション診断の案件が拡大、スマートフォンアプリケーション診断などを行うデジタルペネテストサービスが伸長

●運用監視サービス

受注を目指した大型案件が獲得できなかったことや、子会社の株式会社アジアリンクの減収等があったものの、中部地域大手製造業グループ向けなどの運用監視サービスの売上が拡大

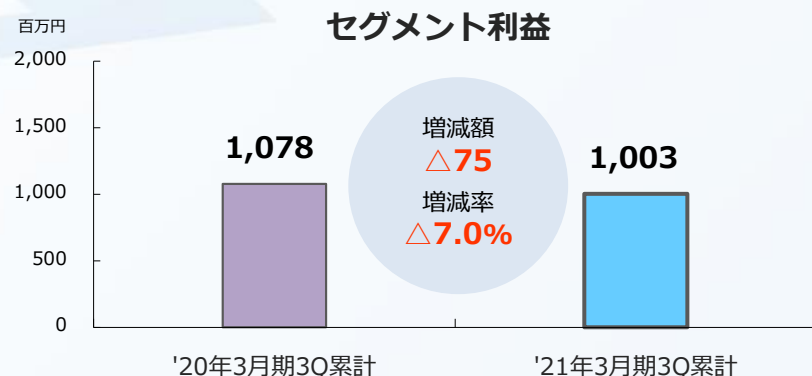
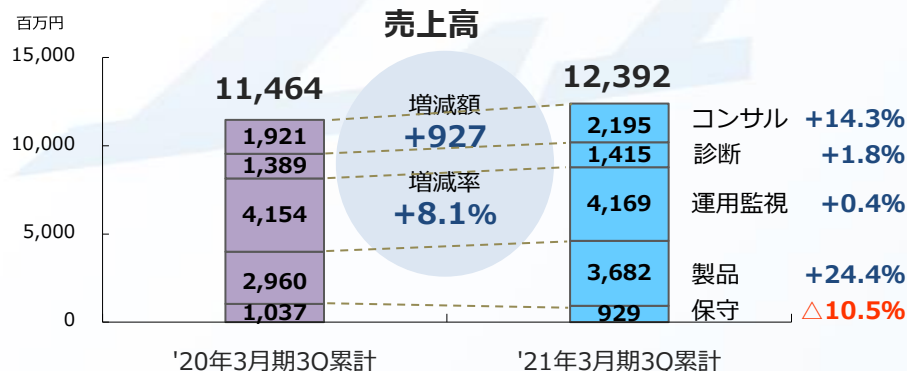
●製品販売

サービス妨害型攻撃にも対応したWebセキュリティ対策をはじめとするクラウド対応製品などが拡大

●保守サービス

クラウド対応製品の拡大に伴い既存の更新案件等が減少

セグメント利益は人員増強など体制強化のための投資等により減益



開発サービス等の拡大により増収、収益性改善等により増益

● 開発サービス

銀行や保険など金融業向け案件が減少したものの、公共および情報サービス業向け案件などが伸長

● HW/SW販売

クラウドサービスの拡大等により需要は縮小しているものの、更新案件の獲得等により増加

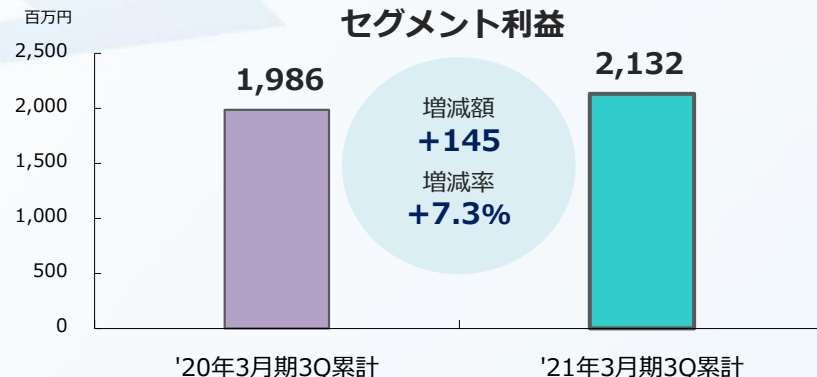
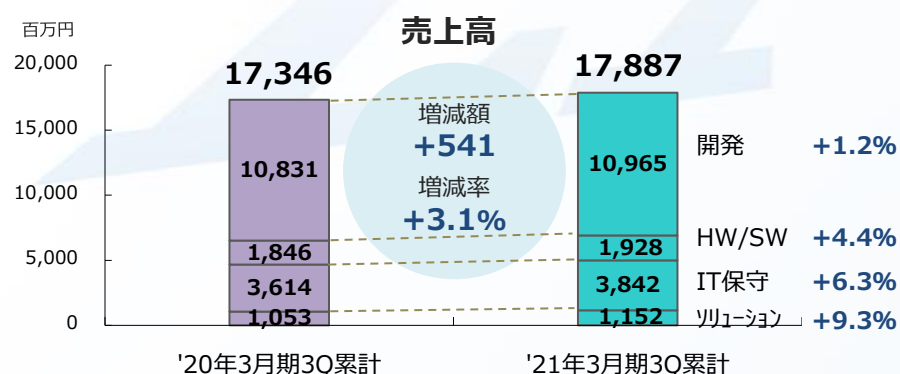
● IT保守サービス

前期（2020年3月期）のHW/SW販売が堅調に推移し契約更新案件が増加

● ソリューションサービス

テレワークやリモートワークに活用できるリモート接続ソリューションやマルチクラウドにおける開発管理ソリューションの販売が拡大

セグメント利益は開発サービスの収益性改善等により増益



連結貸借対照表ハイライト（前期末比）

財務基盤の安定性に配慮しつつ、経営環境の変動に対応可能な手元資金を継続確保

（百万円）

科目	‘20年3月期末	‘21年3月期 3Q末	前期末比 増減
資産合計	22,383	24,419	+2,036
流動資産	14,976	16,510	+1,534
固定資産	7,407	7,909	+501
負債合計	10,420	12,837	+2,416
流動負債	9,515	9,544	+28
固定負債	904	3,292	+2,387
純資産合計	11,963	11,582	△380
現預金	4,653	5,854	+1,201
有利子負債	3,033	5,208	+2,174
自己資本比率	53.4%	47.4%	△6.0p

増減ポイント

資産

【流動資産】

- ・現金及び預金の増加 +1,201
- ・仕掛品の増加 +628
- ・受取手形及び売掛金の減少 △773

【固定資産】

- ・無形固定資産その他に含まれるソフトウェアの増加 +703

負債

【流動負債】

- ・1年内返済予定の長期借入金の増加 +1,332
- ・買掛金の増加 +472
- ・短期借入金の減少 △1,500

【固定負債】

- ・長期借入金の増加 +2,302

純資産

【純資産】

- ・利益剰余金の減少 △387

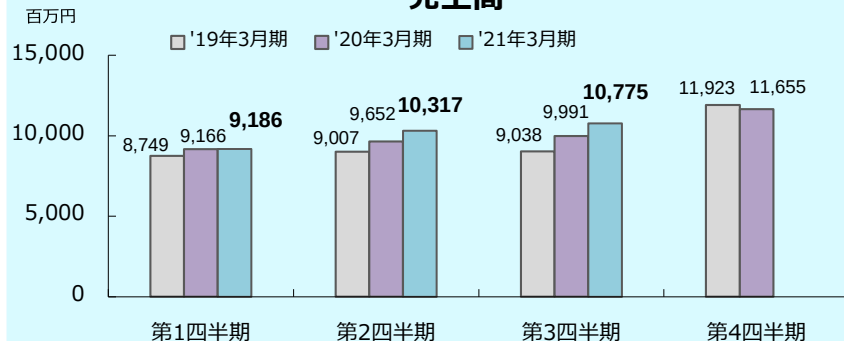
1. 2021年3月期 第3四半期決算概要

2. 補足資料（各種推移）

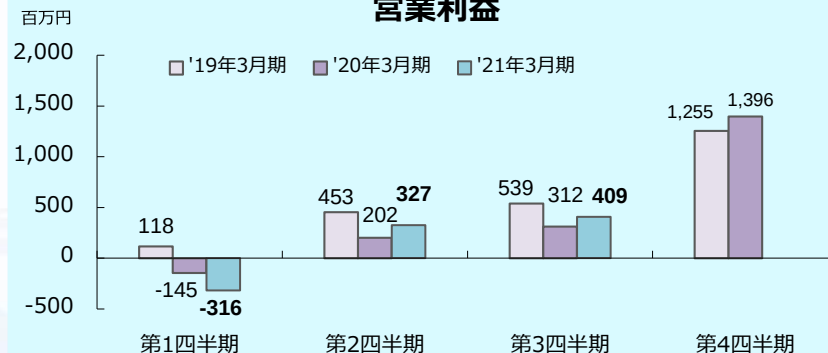
※通期業績予想は2020年11月10日の公表値から変更ありません。

連結業績推移（四半期）

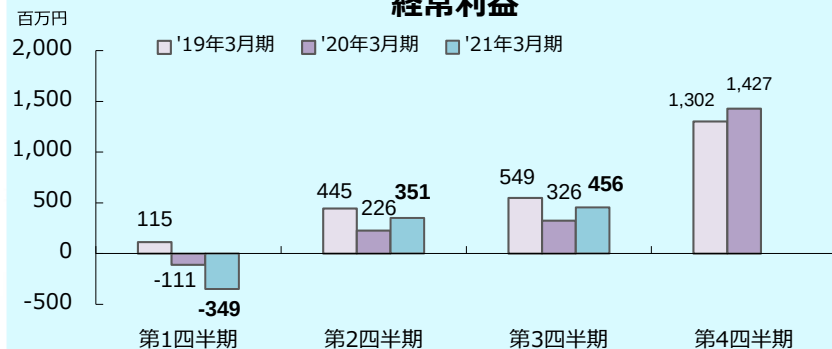
売上高



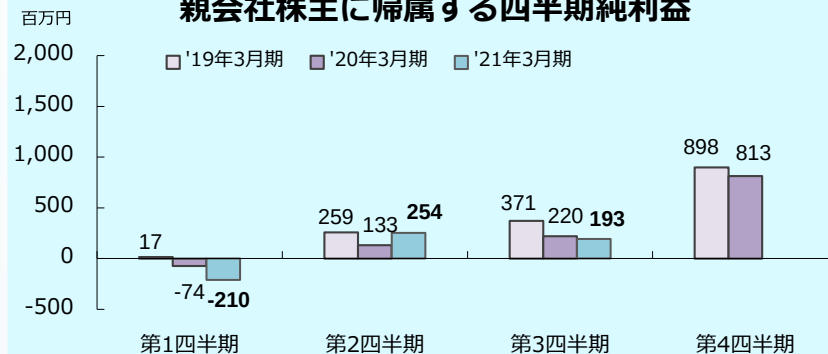
営業利益



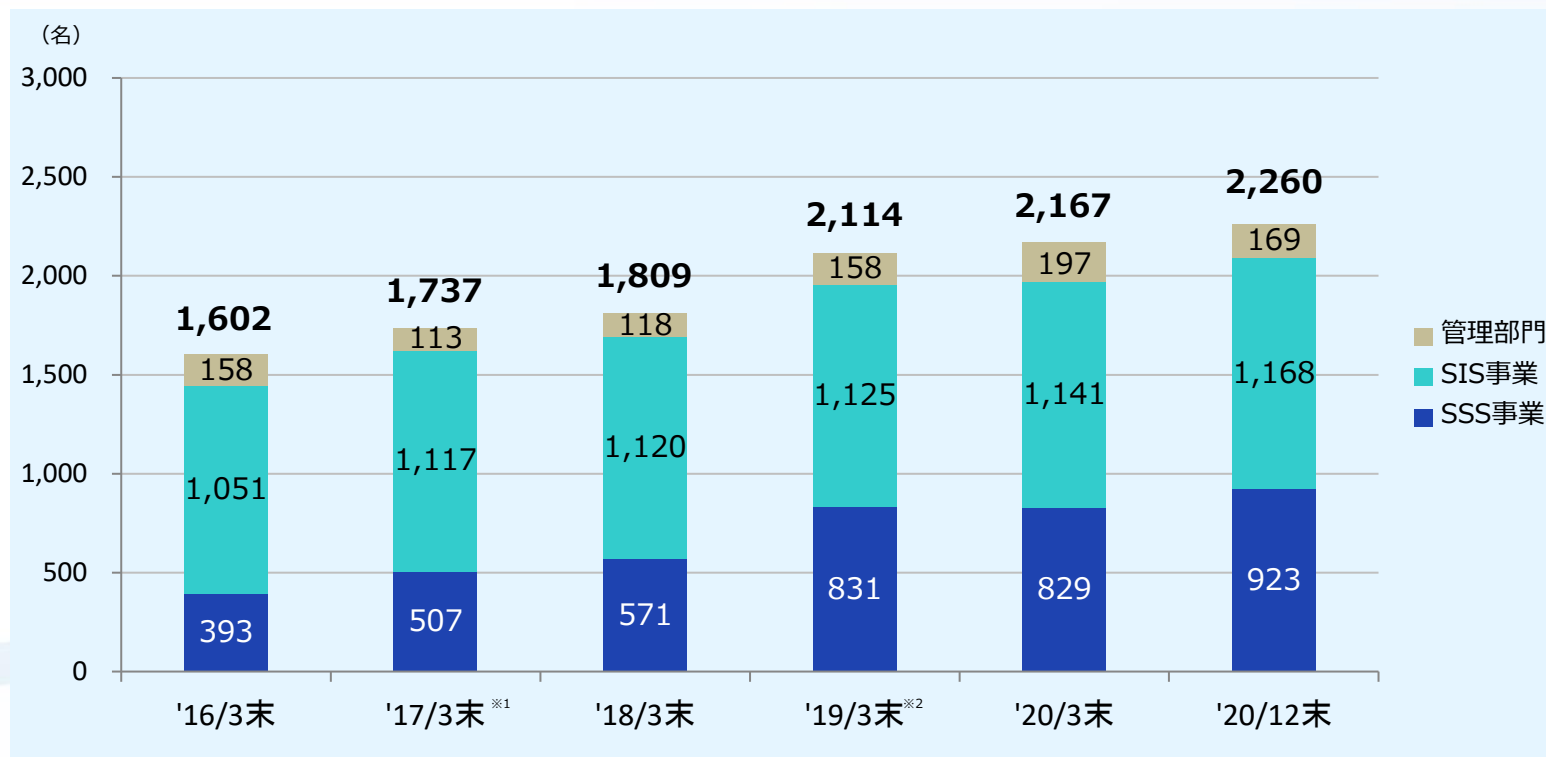
経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



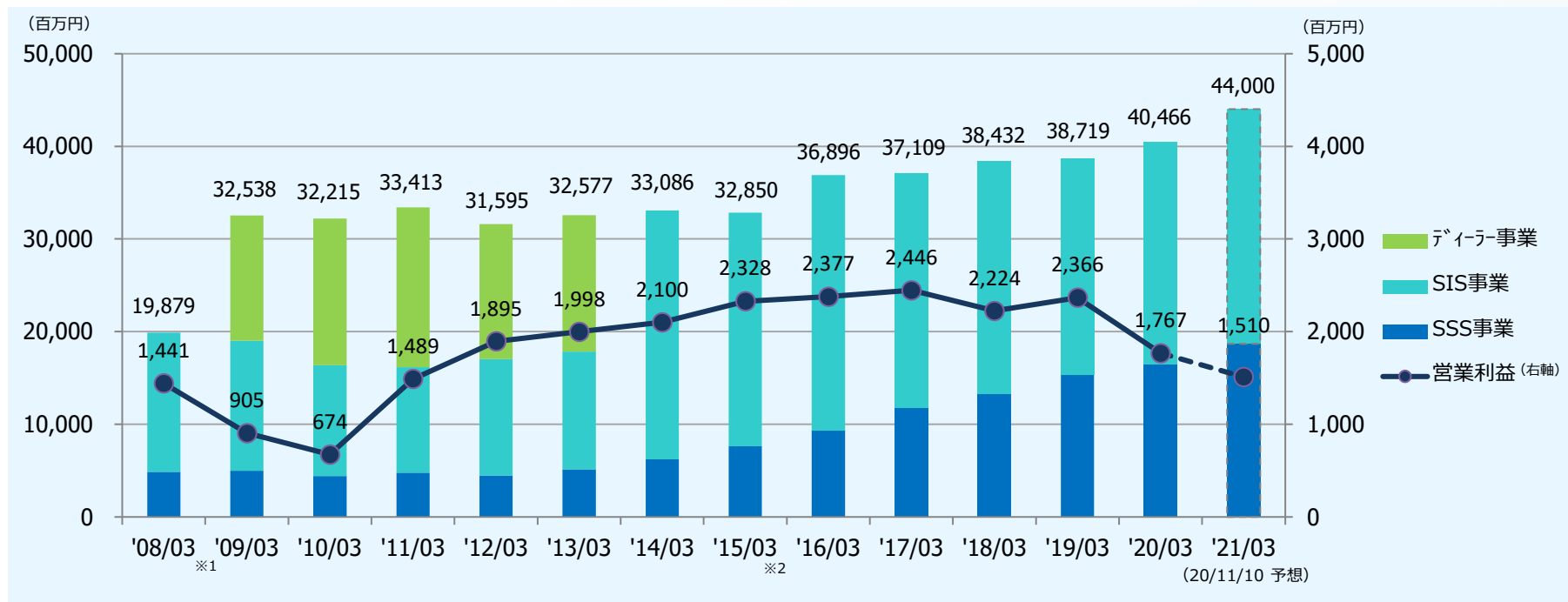
連結従業員数の推移



※1 2018年3月期より、定年再雇用の増加や契約の長期化などを鑑み、契約社員を含めた基準に変更しています。加えて、主に管理部門において、関連する業務に沿った事業区分に見直しています。なお、SSS、SISの両事業に携わる従業員について、稼動状況を踏まえた区分としております。2017年3月末の人員数は同基準により遡及して算出していますが、2016年3月末については従来基準の従業員数となっています。

※2 2019年3月期以降のSSS事業における連結従業員数は、2018年4月2日に子会社化した(株)アジアリンクの従業員が含まれています。

連結業績推移（セグメント別）



※1 旧ラックとA&Iの経営統合初年度である'08年3月期の業績には、旧ラックが決算期を12月から3月に変更したことから旧ラックは'07年1月1日～'08年3月31日までの15ヶ月決算を反映していますが、本資料では、同一期間で比較するため'07年1月1日から'07年3月31日までの旧ラックの個別業績（売上高2,019百万円、営業利益329百万円）を差し引き、1年換算とした場合の想定実績で記載しています。

※2 事業セグメントの変更は'15年3月期からですが、セグメント別の業績を比較するため、その前年度である'14年3月期も同条件で組み替えた場合の想定実績で記載しています。

1. 2021年3月期 第3四半期決算概要

2. 補足資料（事業トピックス）

※通期業績予想は2020年11月10日の公表値から変更ありません。

全社員を対象としたテレワークを実施し、緊急事態宣言後も最大限の体制を継続・推進 福利厚生や労働環境改善の一環で社員を支援

新型コロナウイルス感染症の対策として、2020年3月27日から全社員を対象としたテレワーク（在宅勤務）を実施し、緊急事態宣言後も最大限のテレワーク体制を継続・推進。

緊急事態宣言という急激な労働環境の変化に伴う社員の負担軽減のため、福利厚生の一環で全社員へ「特別支援一時金」を支給。

また、宣言後に出社対応を余儀なくされる社員や契約企業先で勤務する社員もあり、新たな勤務様式に合わせた対応として、毎月の支援金の支給により支援。

特別支援一時金の支給

支給金額	一律30,000円
支給日	2020年5月20日

各種支援金の設置

支給金額	月額4,000円
対象	在宅勤務支援金 週3日以上在宅勤務者で所定の条件を満たした場合
	客先常駐支援金 主としてお客先に常駐勤務する場合
	出社対応支援金 週3日以上出社対応業務に従事しており、在宅勤務をすることができない場合
支給期間	2020年8月1日～2021年3月31日

クラウド活用からの情報漏えいやシステムの不正利用を防ぐ セキュリティ設定診断サービスを提供

クラウドポータルの設定を確認する「クラウドセキュリティ設定診断」とともに、設定を常時監視する「クラウドセキュリティ設定診断 by MVISION Cloud※」を提供。

「サーバセキュリティ設定診断」とあわせ、オンプレミス環境とクラウド環境の共存利用や複数のクラウドサービス利用における、システムのセキュリティ設定ミスや、見逃しが原因のサイバー攻撃による事故を防ぐことが可能。

※マカフィー(株)提供のクラウドセキュリティソリューションを採用したサービス。

クラウドセキュリティ設定診断 by MVISION Cloud

クラウド設定を常時監視

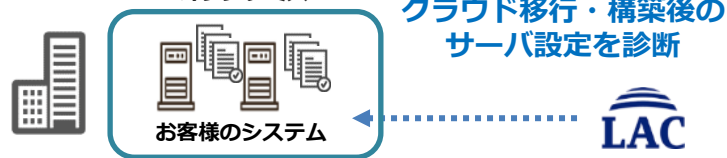
クラウドセキュリティ設定診断

マルチクラウド



サーバセキュリティ設定診断

オンプレミス



ラックセキュリティアカデミーによるセキュリティ教育・訓練サービス テレワークに対応したリモートライブ版の机上演習を提供

複数の参加者が同時にWeb会議システム上で対応方法を学ぶことのできる「情報セキュリティ事故対応1日コース 机上演習編 リモートライブ版」の提供開始。

これまで集合研修で行っていた机上演習をリモートで受けることができ、さらにテレワーク環境ならではの事故対応ノウハウ、コミュニケーションの特徴や難しさも学ぶことが可能。

企業担当者

在宅勤務



セキュリティ事故の際対応しきれず



Web会議システム上で対応方法を学習

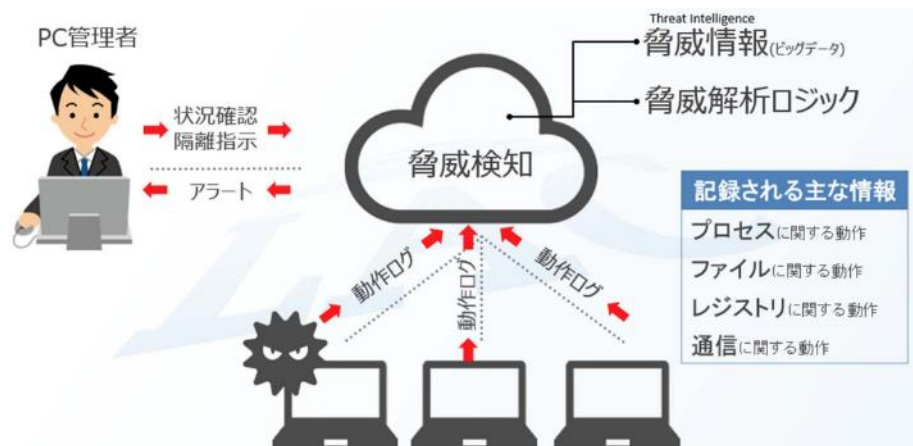
情報セキュリティ事故対応1日コース 机上演習編 リモートライブ版

テレワーク環境ならではの事故対応ノウハウ、
コミュニケーションの特徴や困難さを学習

セキュリティシステムの監視外となる社外PC（端末）の不振な挙動の検知と対応が可能なEDRを提供

PC内の動作ログをサーバーに集約し、セキュリティベンダが保有している脅威情報と照合して脅威を検知。

脅威を検知した場合、管理者に電子メールなどでアラートが通知され、管理者はEDRの管理コンソールを操作することでPCの隔離などを実施可能。



カテゴリ	EDRなし	EDRあり
検知	アンチウイルスソフトで検知可能な場合もあるが、マルウェアを使用しない攻撃は検知できない。	マルウェアを使用しない攻撃も含め不審な挙動を検知可能。
封じ込め	端末を特定の上でLANから切り離し物理的に隔離する。	EDRの管理コンソールから隔離操作を行い、論理的に隔離する。
調査	プロキシログなどのログ調査、端末のフォレンジック調査により実施する。	EDR管理コンソール内の調査機能を使用して実施する。
復旧	端末を初期化し再利用する。	EDRの対処機能により悪性ファイルなどを削除し利用再開する。

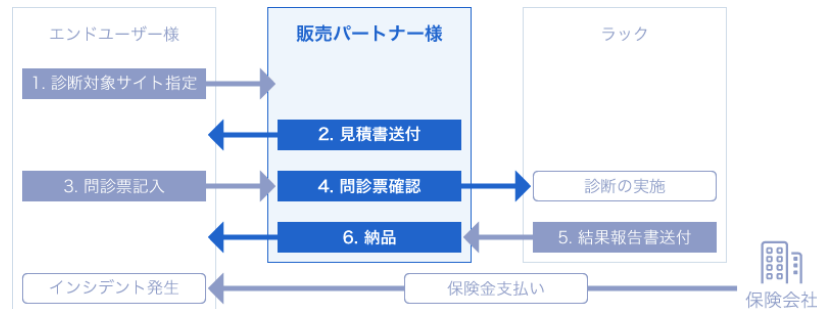
※EDR（Endpoint Detection and Response）

サイバー保険付帯により攻撃被害発生時の一次対応費用を補償 パートナー向け診断サービスの提供

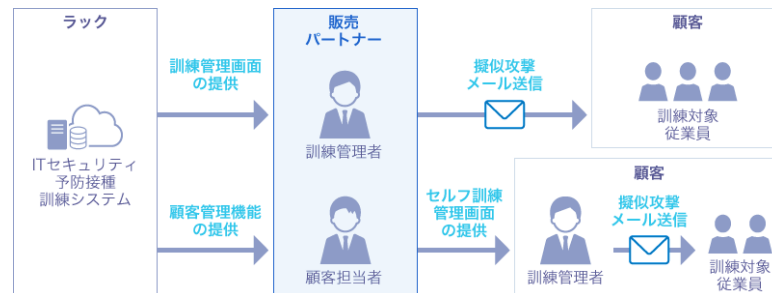
販売パートナー専用のサービスで、評価の高いラックの診断サービスと、万一の際の補償が受けられるサイバー保険をセット。

システム開発などを手掛けるパートナー企業はオールインワンでエンドユーザーにセキュリティ対策サービスの提供が可能。損害保険ジャパン(株)とラックが共同で開発したサイバー保険が自動付帯し、一体化して提供することで、お客様の保険加入の手間を軽減。

サイバー保険付き Webアプリケーション診断 "ファースト"



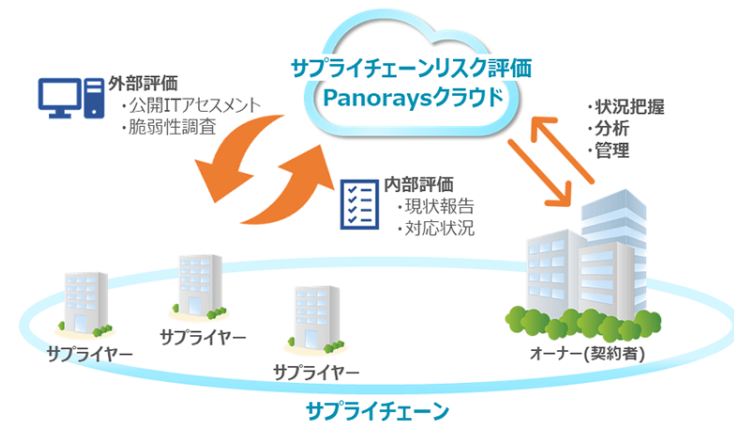
サイバー保険付き 標的型攻撃メール訓練 "プレミアム"



海外子会社や国内外の業務委託先に対するセキュリティ対策状況を可視化 セキュリティリスク評価の一元管理が可能

SOMPOリスクマネジメント(株)が提供するSaaS型のセキュリティリスク評価システム「Panorays」を活用し、自社に関係するサプライヤーの情報を共通のシステムに収集。

サプライチェーン全体のセキュリティ対策状況を把握し、どこに弱点があるか、攻撃を受けやすいポイントがあるかを可視化、一元的に管理することを可能。



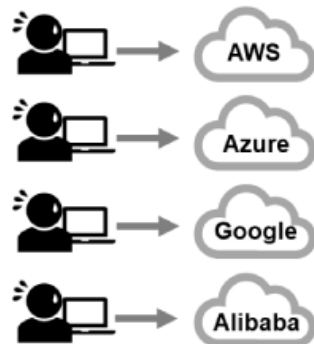
同業界他社比較による客観的な分析をスコア化して表示



マルチクラウド環境のセキュリティリスクを検出・可視化 アプリケーションの開発と運用を一体化しながらセキュリティを確保

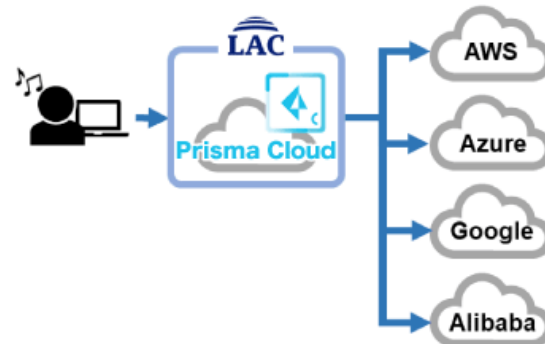
複数のクラウド環境のセキュリティ設定状況が自社のセキュリティルールに準拠しているかどうかや、セキュリティ事故につながる設定ミスなどを検出・可視化。

サービス導入無しの場合



- ・複数のクラウド環境で個別にセキュリティ対策
- ・各種業界標準*のポリシーに対応できない
- ・設定や対応をするエンジニア不在
- ・事故が発生しても気がつかない
- ・日本特有の対策に対応できない

サービス導入した場合



- ・複数のクラウド環境を一括してセキュリティ対策
- ・各種業界標準*のポリシーに準拠
- ・設定や対応をラックのエンジニアがサポート
- ・事故の発生を早期に検知
- ・ラック独自のポリシーにより日本特有の対策可能

※ CIS、NIST、PCIDSS、HIPAA、GDPR など

企業のテレワークセキュリティ状況を自己診断できる無料Webサービスを公開 専門知識を持たない方でも状況調査が可能

ラックの専門的な経験と知識を反映したアセスメントシートを用意し、質問票にチェックを入れていくだけで、自社のテレワークセキュリティの状態を診断。テレワーク環境の導入や拡大によって変化したセキュリティリスクを簡単に把握。



テレワーク環境セキュリティ対策簡易チェック

1 セキュリティガバナンス 2 3 4 5 6

以下の質問に対する回答として当てはまるものを選択してください

	そう思う	わからない	そう思わない
① テレワークの導入に伴い生じるセキュリティリスクを特定し、必要な対策を検討・導入していますか。	☐	☐	☐
① 経営層がテレワークに伴うリスクやセキュリティ対策に関心を持ち、対策を推進するために必要な人員の配置や予算の確保を行っていますか。	☐	☐	☐
① テレワークの導入に伴い、新たにテレワークに関連した規程・手順書の整備や、既存のセキュリティポリシーの見直しを行っていますか。	☐	☐	☐
① テレワーク時を守るベール・手帳や、それを行わないとどのようなリスクが生じるのかを、テレワークを行う従業員一人一人に対し、教育を行うことで周知・徹底されていますか。また、教育については一過性のものでなく、定期的を実施していますか。	☐	☐	☐
① テレワークに係る各種施策が、ルールや手順に沿って適切に実装・運用されていることを定期的に確認していますか。また、違反があった場合に、その問題点に対して適切に対処していますか。	☐	☐	☐
① テレワークに起因して発生し得る事故の想定を行い、適切に対処するための対応体制の構築や対応フローの整備を行っていますか。また、従業員やインシデント対応要員がテレワーク環境下にある場合も、同様に対処できることを確認していますか。	☐	☐	☐
① 従来とは異なるテレワーク環境に起因するインシデントへの対応フローの確認や、インシデント対応要員がリモートで対応できる場合においても円滑な対応が可能となるよう、インシデント対応訓練を実施することで確認していますか。	☐	☐	☐

戻る

続ける



テレワーク環境セキュリティ対策簡易チェック

レポートの送信先（メールアドレス）をお教えください

Email*

株式会社ラックの「個人情報取り扱い」に同意して、レポートを取得する

私のレポートを送信する

個人情報の取り扱いについて
テレワーク環境セキュリティ対策簡易チェック利用規約

あなたの直近のリスク概要

IDマネジメント

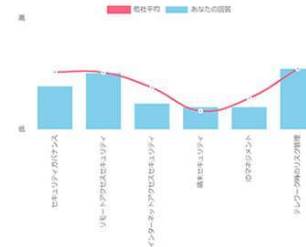
テレワーク環境から社内ネットワークやクラウドサービスへのアクセスを許可する場合、接続元によるアクセス制御の導入が困難であり不特定多数から認証試行（パスワードアタック）が可能となるため、これらの攻撃により認証が突破されてしまった場合、社内ネットワークやクラウドサービスへの不正アクセスにより情報漏洩やデータ破壊などのリスクが生じるおそれがあります。

端末セキュリティ

端末へのセキュリティ対策が不十分である場合、端末へのマルウェア感染による情報漏洩や破壊、端末紛失・盗難による情報漏洩、従業員の不正による情報漏洩などのリスクが生じるおそれがあります。

*全ての詳細情報はエクゼクティブレポートに含まれています

カテゴリ別セキュリティ評価結果

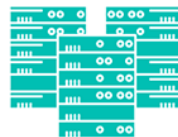


あらゆるデータ形式をリアルタイム検索、分析、可視化が可能 Elastic社と包括的なパートナー契約を締結し販売とソリューション開発で協業



Elastic Stack

各種の情報を収集し、索引付けしたうえで分析をすることで、隠された真実を知ることができるソリューション



ITシステムの動作記録分析

情報システムが記録する各種イベントログなどのアプリケーションデータの収集・分析により、システム運用や監査の効率化やIT資産の有効活用できる。



社内横断検索

企業内に蓄積されているドキュメント、社内のチャットやSNSの情報などを横断的に検索できることで、迅速に目的の情報が発見できる。



セキュリティ調査分析支援

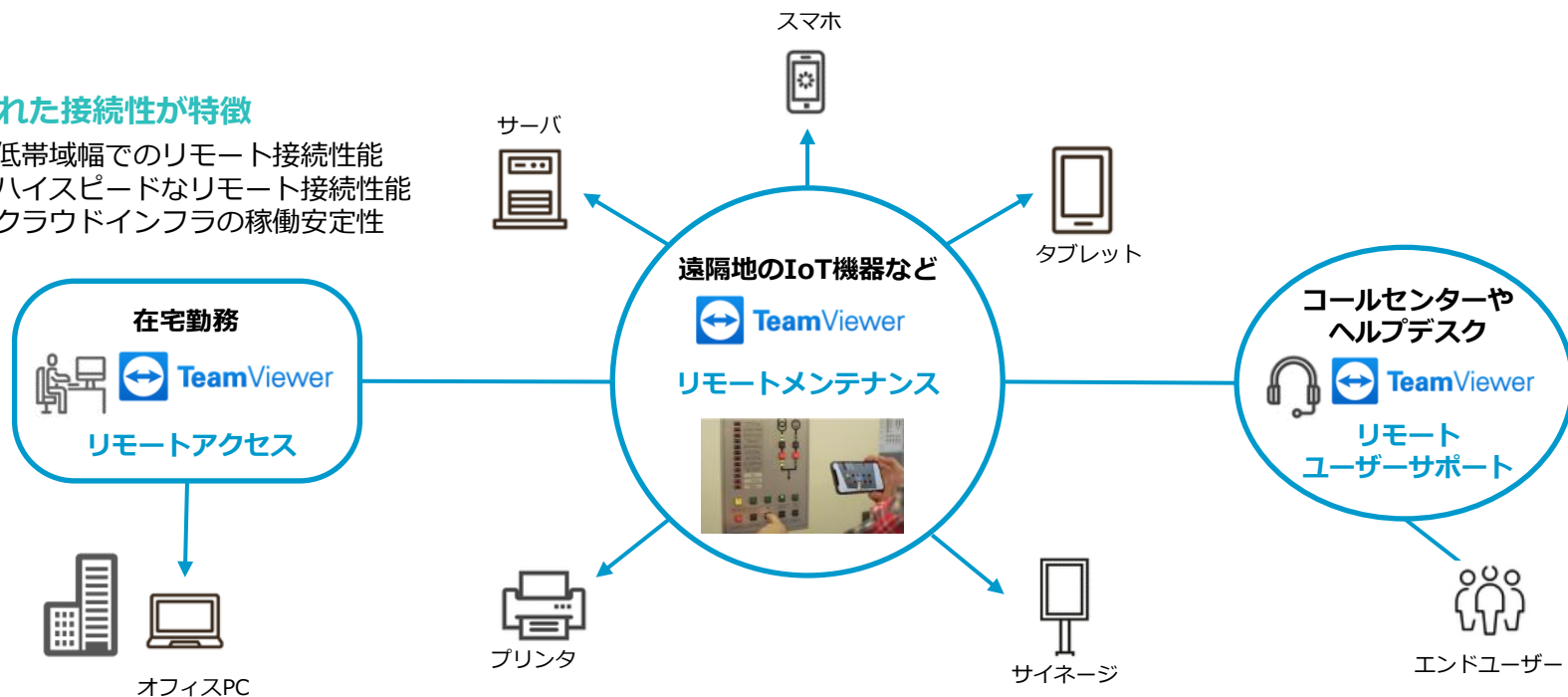
様々なセキュリティ製品のイベントログ情報を集約・分析することで、サイバー攻撃の事実や予兆を早期に発見でき、被害の拡大を抑制できる。

リモートワークを実現する接続ソリューション テレワークをはじめとする様々な働き方改革を支援

新型コロナウイルス感染症対応として顧客企業の事業継続を支援

優れた接続性が特徴

- ・低帯域幅でのリモート接続性能
- ・ハイスピードなリモート接続性能
- ・クラウドインフラの稼働安定性

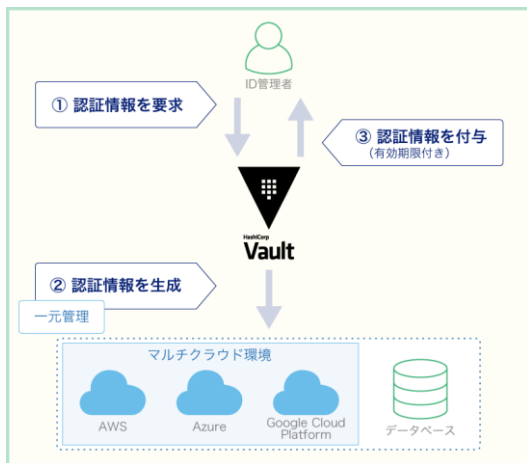


マルチクラウド環境での複数システムの認証情報を ユーザーに代わって安全に一元管理

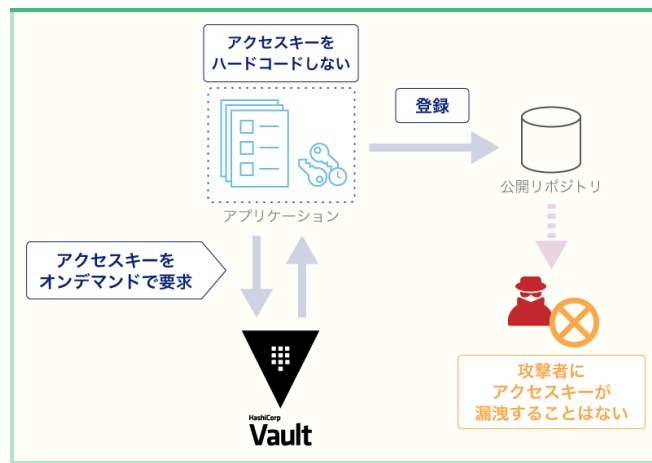
一時的にシステムにアクセスできるID、パスワードをVaultが自動生成し、IDに対して有効期限を設定することで自動廃止や使用期限の延長および手動廃止が可能。

統一したセキュリティポリシーに基づき自動化された管理手段を導入することで、安全性と利便性を高め、外部のみならず、内部の管理者や開発者の万一の不正な行動を防御。

最大の特徴「シークレットの動的管理」機能



アクセスキー不正使用による機密情報漏洩の防止



コードで設定変更作業を管理することで、手作業による間違いを防ぐ さらには自動化により迅速に大量のサーバの設定変更を反映させることが可能

クラウドのインフラ構築において、コードによる設定変更作業や履歴管理ができ、さらにマルチクラウドやハイブリッドクラウドの作業の自動化も管理画面から容易に行うことができるソリューション。

ポリシーチェック機能「Sentinel」を用いて、アクセス権のないユーザが重要な構成変更をできなくしたり、決められた時間外の構成変更を保留したりするなど、操作ミスや作業ミスなどからインフラを破壊してしまう事故を防ぐ。

個別設定が必要な手動でのクラウドリソース管理

GUI 画面による構築・設定



いくつかの画面に
わたって設定が必要



共通の構成ファイルで記述することが可能

```
variable "aws_region" {}

variable "base_cidr_block" {
  description = "A /16 CIDR range definition, such as 10.1.0.0/16, that the VPC will use"
  default = "10.1.0.0/16"
}

variable "availability_zones" {
  description = "A list of availability zones in which to create subnets"
  type = list(string)
}

provider "aws" {
  region = var.aws_region
}
```


セキュリティ事業やシステム開発事業で培った経験を活かし 街全体を見守る総合的なセキュリティ分析サービスを提供（コードネーム：town）

セキュリティ分析ソフトウェアサービスで提供するもの

豊富な管理機能を無料で提供



「town」では、ネットに接続されるセンサー、IoT機器のアセット管理、死活管理等の機能や監視、分析・解析を行う管理画面など、必要だと想定される基本的な機能を無料で提供する計画。

加えて、本サービスは既存のシステム環境への導入を容易にするため、クラウドサービスでも利用可能とする予定。

地域ごとのニーズに応える柔軟性と拡張性



地域のシステム環境への組み込みが行ないやすいよう、導入作業を行うシステム開発事業者や連携する他のソフトウェアなどを限定しない、運用監視体制についても希望する地域事業者を自由に選ぶことができる柔軟性のあるサービスとする計画。

また機能の拡張性にも優れ、地域特性によって管理、分析の対象とするセンサーの追加や、運用に合わせた分析ルールの追加、編集も行うことができる仕様を目指す。

自社サービスを提供するなかで得られた知見をまとめたレポートを発行

JSOC INSIGHT



vol.26 ~28

セキュリティ診断レポート



2020春

2020秋

サイバー救急センターレポート



第9号

CYBER GRID JOURNAL



Vol.10

「withコロナ」経営者が 今やるべきこと



テレワーク導入便覧



他社に先駆けて始めたセキュリティ対策サービスと 独立系のITベンダーとして幅広い領域のSIサービスを提供



会 社 名	株式会社ラック
住 所	東京都千代田区平河町 2 - 1 6 - 1 平河町森タワー
設 立	2007年10月1日
代 表 者	代表取締役社長 西本 逸郎
資 本 金	10億円
業 績	連結 404億円、営業利益17億円（2020年3月期）
従業員数	連結 2,167名（2020年3月31日現在）
拠 点	会津事業所、東陽町オフィス、錦糸町オフィス、名古屋オフィス、福岡オフィス、ラックテクノセンター北九州、シンガポール支店
上場市場	東京証券取引所 JASDAQ 3857



- ※ 本資料は2021年2月現在の情報に基づいて作成しており、記載内容は予告なく変更される場合があります。
- ※ LAC、ラック、JSOC、サイバー救急センターは株式会社ラックの登録商標です。
- ※ その他記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

株式会社ラック

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-16-1
平河町森タワー
Tel 03-6757-0107 (IR直通)
ir@lac.co.jp
www.lac.co.jp